



南海トラフ地震を想定した防災訓練を実施します(報道公開)

名古屋高速道路公社は、南海トラフ地震を想定し、被災時における対応力の強化を目的として、以下のとおり防災訓練を実施します。

この訓練では、**緊急車両の救援ルート**を早期に確保するため、**放置車両の移動**及び簡易な段差修正による**道路啓開の実動訓練**を行います。[詳細は裏面参照]



《ジャッキによる放置車両移動》



《軽量スロープによる段差応急復旧》

1. 日 時

令和3年8月30日 (月) 10:00~11:00

2. 場 所

名古屋高速道路公社 船見基地 (名古屋市港区船見町1番地の128)

3. 訓練上の想定

南海トラフ地震が発生し、高速道路の損傷(路面の段差)により、通行出来ない車両が放置されている状況を想定します。

訓練は職員及び維持業者等が特殊な資機材を使用して、放置車両を移動させ段差等を解消し、緊急車両の通行ルートを早期に確保するまでの応急復旧作業を実施します。

4. 訓練参加機関

名古屋高速道路公社、名古屋高速道路協会、土木維持業者

5. その他

実働訓練の当日取材をご希望の方は、8月27日(金)15時までに広報課(TEL:052-919-3236)までご連絡ください。

なお、災害対策本部運営訓練(図上訓練)は、新型コロナウイルス感染症対策のため密を避けた人員で、30日午後に非公開で実施いたします。

防災訓練の概要

訓練内容

ジャッキによる放置車両移動

放置車両が緊急車両の通行を妨げている状況を想定し、これを解消するために限られたスペース内で作業をすることができる特殊なジャッキを使用します。

各タイヤに1台ジャッキを設置し車体を路面から浮かせ、車両を人力で移動させます。



《ジャッキ（機械式）》



《ジャッキ設置》



《車両移動》

○重量：約 20 kg/台 ○対応可能車両：約 3 t 車まで

軽量スロープによる段差応急復旧

路面の段差・開きにより車両が通行できない状況を想定し、これを解消するため、“人力で速やかに運搬・設置が可能”な軽量渡し板、軽量スロープを使用します。

<軽量渡し板>



《設置状況》

- 重さ
約 30kg/枚
- 規格
FRP 製（せん維強化プラスチック）
- 通行可能車両
大型車両 10 t 車程度まで

<軽量スロープ（EPS スロープ）>



《設置状況》

- 重さ
約 30 kg/部材
- 規格
発砲ポリスチレン
- 通行可能車両
大型車両 10 t 車程度まで

○訓練の実施場所

名古屋高速道路公社 船見基地（名古屋市港区船見町1番地の128）

